

100-165

問題文

抗悪性腫瘍薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. パクリタキセルは、チューブリンの重合を阻害し、有糸分裂を抑制する。
2. カルボプラチンは、DNA鎖に架橋を形成し、DNAの複製を阻害する。
3. プレオマイシンは、活性酸素を発生させ、DNA鎖を切断する。
4. ペバシズマブは、ヒト上皮増殖因子受容体2型(HER2)に対するモノクローナル抗体で、血管新生を阻止する。
5. ボルテゾミブは、プロテアソームを活性化し、転写因子NF-κBの作用を阻害する。

解答

2, 3

解説

選択肢 1 ですが

重合を阻害ではなく、「脱重合」を阻害です。その他の記述は正しいです。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが

ペバシズマブは、血管内皮増殖因子（VEGF）に対するモノクローナル抗体です。HER 2 に対するモノクローナル抗体はトラスツズマブ（®ハーセプチン）です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

ボルテゾミブは、プロテアソーム阻害薬です。プロテアソームを活性化するわけでは、ありません。その他の記述は、正しいです。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,3 です。